

第二次長野市環境基本計画後期計画 令和2年度の取組結果表

基本 目標	コード	指標名		担当課等	計画 目標値 (R3年度)	H30年度			R1年度			R2年度			是正計画 (R3.5作成)		監視項目 (155項目) 中の 遅れ気味・遅延の施策	
						目標値	実績	目標 達成	目標値	実績	目標 達成	目標値	実績	目標 達成	原因	是正計画		
① 循環型 社会の 実現	11	ごみの総排出量 (t)	↓	生活環境課	124,724t	128,314	125,811	○	125,811	125,744	○	125,744	122,241	○			全35項目 (遅延 3項目) ・ ごみ処理施設の整備 ごみ焼却施設建設及び周辺環境整備建設に向けた地元同意のための説明会の開催 →ごみ焼却施設建設は、H30年度で終了 周辺環境整備建設 (公園) は、敷地内の一部に埋設廃棄物が確認され、地元と協議中 他 2件 (遅れ気味 5項目) ・ 監視指導の徹底と処理業者の育成 監視・指導立入件数 →月50件以上を目標に立入を実施しているが、今年度は処理期限が迫るPCB廃棄物の早期処分を促すため、訪問指導に注力したことにより、月の立入件数が減少している。 ・ 効率的な廃棄物行政の推進 市民一人1日当たりの家庭系ごみ排出量 →上半期の緊急事態宣言時に片付けごみ量が増え、未達成となった。 他 3件	
	12	市民の一人1日当たりのごみ排出量 (g/人・日)	↓	生活環境課	411g/人・日	421	420	○	418	418	○	415	433	×	上半期の緊急事態宣言時に片付けごみ量が増え、未達成となった。	家庭ごみの減量を進めるため、ごみの分別の徹底を指導啓発し、再資源化を推進する。市民に対して、ごみ出し方のルールの徹底を図るため、全戸配布している「ごみ収集カレンダー」のほか、「資源物と出し方保存版」など冊子、「サンデーリサイクル案内」、「エコねこ通信」などのチラシの配布や市の広報、ラジオ、ホームページ、各種イベント等を通じて啓発を進める。住民自治協議会環境美化の役員に対しては、「環境活動のてびき」を配布し、分別強調月間として分別指導を行い啓発に努める。また、レジ袋削減の取り組みや食品ロス削減の取り組み、フードバンク活動への協力、生ごみ処理実践講座、出前講座などを通じて啓発活動を行う。		
	13	事業系ごみ年間排出量 (t)	↓	生活環境課	39,757t	39,605	39,115	○	39,115	40,436	×	39,757	35,618	○				
	14	マイバック持参率 (%)	↑	環境保全温暖化対策課 生活環境課	80.0%	70.0	67.5	×	70.0	65.4	×	75.0	89.8	○				
② 良好な生活環境の保全	21	大気環境基準達成項目数 (項目)	→	環境保全温暖化対策課	15項目	15	15	○	15	15	○	15	15	○			全16項目 (遅れ気味 1項目) ・ まちの美化の推進 ポイ捨て吸殻本数 (月平均本数：長野大通り10か所) →地域等の美化活動が停滞した影響と推察する。巡回指導員の夜間パトロールによる啓発活動を実施したが、目標達成までには至らなかった。	
	22	市内中小河川13河川のBOD平均率 (mg/ℓ以下)	↓	環境保全温暖化対策課	2.0mg/ℓ以下	2.0	1.6	○	2.0	1.0	○	2.0	1.6	○				
	23	地区環境美化活動のごみ回収量 (kg)	↓	環境保全温暖化対策課	21,500kg	21,500	16,574	○	21,500	16,263	○	21,500	13,749.9	○	新型コロナウイルス感染症対策により春のごみゼロ運動の実施を見合わせた地区が多かったため、統計として使用できる値ではない。			
	24	ポイ捨て吸い殻本数 (月平均本数：長野大通り10か所) (本)	↓	環境保全温暖化対策課	70本	70	117	×	70	116	×	70	122	×	地域等の美化活動が停滞した影響と推察する。巡回指導員の夜間パトロールによる啓発活動を実施したが、目標達成までには至らなかった。	引続きポイ捨て行為者、歩行喫煙者に対し注意・指導を行うなど、粘り強い周知啓発活動を行い、ポイ捨てや歩行喫煙をしづらい市域全体の雰囲気を醸成していく。また、公共喫煙所を設置するとともに、既設喫煙所へ誘導を行うことで、目標達成を図る。		
③ 豊かな自然環境の保全	31	豊かな自然環境が保たれている (%)	↑	環境保全温暖化対策課	73.6%以上	73.6	69.1	×	73.6	69.0	×	73.6	72.5	×	昨年度より向上したが、新型コロナウイルス感染症の影響により特定外来生物駆除活動等を実施できず目標達成には至らなかった。	生物多様性、希少種保護等に関する情報をホームページ等に掲載し、市民に周知していく。	全23項目 (遅延 3項目) ・ 外来生物等対策事業 アレチウリ駆除講習会等参加回数 →新型コロナウイルス感染症対策により、講習会未実施 ・ 里山の保全と利用の推進 ・ 森林体験の促進 森林体験参加者数 (人) →新型コロナウイルス感染症対策により、軒並み事業中止となっている。 (遅れ気味 1項目) ・ 環境にやさしい農業の促進 取り組み農家数 (エコファーマー認定者数) →認定機関である県と協力して新規及び更新の申請を呼びかけたものの、認定から5年経過後の失効者が多数に上り、目標達成に至らなかった。	
	32	間伐面積 (累積面積) (ha)	↑	森林整備課	9,500ha	7,838	7,636	×	7,971	7,842	×	8,092	8,020	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、4月～10月にかけて、大手製材工場による丸太の受け入れにが、中止または制限された。それに伴い林業事業体においても、丸太の生産量調整や他事業への振り替えが行われたため、間伐面積が減少し目標達成に至らなかった。	現在のところ、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着いている。今後においても、国・県の補助事業を活用するほか、令和2年度から始まった森林環境譲与税を活用した長野市独自の補助事業を活用し間伐事業を推進していく。		
	33	森林体験参加者数 (年間人数) (人)	→	森林整備課	2,150人	2,150	2,167	○	2,150	2,282	○	2,150	1,386	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、軒並み事業が中止となり、その結果、参加者数が減少した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止せざるを得ない場合もあるが、事業主体と共に感染症対策を十分に取、できる限り開催していく。また、新たな体験事業 (ブッシュクラフト、グリーンウッドワーク) を開催し、参加者を増やしていく。		
	34	エコファーマーの認定者数 (人)	↑	農業政策課	1,089人	882	488	×	500	215	×	220	122	×	認定機関である県と協力して新規及び更新の申請を呼びかけたものの、認定から5年経過後の失効者が多数に上り、目標達成に至らなかった。	農業青年協議会の勉強会等で、引き続き認定制度の周知を図るとともに、農業研修センターにおいて肥料や農薬の低減など環境にやさしい農業講座を実施し、農業者の自主性も尊重しながら認定者数の増加を図っていく。		

基本 目標	コード	指標名		担当課等	計画 目標値 (R3年度)	H30年度			R1年度			R2年度			是正計画(R3.5作成)		監視項目(155項目)中の 遅れ気味・遅延の施策
						目標値	実績	目標 達成	目標値	実績	目標 達成	目標値	実績	目標 達成	原因	是正計画	
④ 豊 か で 快 適 な 環 境 の 創 造	41	市民一人当たりの都市公園面積 (都市計画区域内) (㎡)		公園緑地課	9.19㎡	7.68	7.73	○	7.75	7.75	○	7.82	7.82	○			全24項目（遅れ気味 なし）
	42	市内中小河川9河川の水質階級(点)		環境保全温 暖化対策課	11点以下	11	9	○	11	10	○	11	10	○			
	43	景観やまちなみが美しい地域である(%)		都市政策課	62.2%以上	59.2	54.8	×	60.2	56.6	×	61.2	60.5	×	景観賞の募集や、景観賞・ながの百景めぐりの実施など行政による景観啓発活動のほか、市民団体による景観向上やまちなみ保全の活動は各地で行われているが、全体的な関心の高まりが不足している。	H30.10.1に改正景観計画を施行した。景観を阻害するような建築物や工作物を、届出制度や事前協議制度により周辺の景観と調和するよう誘導していくことにより、市民の景観への満足度向上を図る。 景観啓発事業として、景観賞及び景観めぐりを実施し、市民自身が住む周辺の景観への関心向上を図っていく。	
⑤ 低 炭 素 社 会 の 実 現	51	温室効果ガス年間排出量(t-CO2)		環境保全温 暖化対策課	1,878,400 t-CO2	*1,975,500 (H27)	2,230,348 (H27)	×	*1,959,300 (H28)	2,205,391 (H28)	×	*1,943,100 (H29)	2,217,441 (H29)	×	排出量は前年度より増加しており、電力の排出係数(電力1kWhあたりどれだけのCO2を排出しているかを示す)も依然、基準年(H17)に比べ高いため、目標には至らなかった。 (電力排出係数 H17年度(基準年)0.452 H29年度 0.472)	特に温室効果ガス排出量の占める割合が高い事業所・家庭に向けた啓発を継続して進めるとともに、新たな再エネ・省エネの支援策を構築し、温室効果ガス排出量の削減を図る。また、事業所向け温暖化対策支援サイト、小・中学生に配布する環境情報紙などを通じて、低炭素行動を促すための情報発信を行う。	全40項目 (遅延 1項目) ・森林体験の促進 ※再掲 (遅れ気味 4項目) ・事業者の省エネルギー活動の啓発推進 ・省エネ住宅・省エネビルの普及促進 ・省エネルギーに向けた全市的な取組の促進 ・再生可能エネルギーの普及啓発の推進 センター主催の市民向け学習会、講習会等の開催数 →新型コロナウイルス感染症等の影響により、講習会や学習会の開催回数が減少している。
	52	市民一人1日当たりの温室効果ガス排出量(kg-CO2)		環境保全温 暖化対策課	14.08 kg-CO2	*14.39 (H27)	16.18 (H27)	×	*14.34 (H28)	16.01 (H28)	×	*14.29 (H29)	16.22 (H29)	×	排出量は前年度より増加しており、電力の排出係数(電力1kWhあたりどれだけのCO2を排出しているかを示す)も依然、基準年(H17)に比べ高いため、目標には至らなかった。 (電力排出係数 H17年度(基準年)0.452 H29年度 0.472)	「指標・目標コード51 温室効果ガス年間排出量」を人口及び日数で割った数値であるため、同項目の是正計画と同じ	
	53	太陽光発電設備規模(累計) (kW)		環境保全温 暖化対策課	160,000kW	*120,000 (H29)	127,669 (H29)	○	*130,000 (H30)	138,695 (H30)	○	*140,000 (R1)	145,316 (R1)	○			
	54	木質バイオマス燃料需要量の推計値(ℓ)		環境保全温 暖化対策課	330,000ℓ	255,060	292,795	○	280,040	278,424	×	304,212	254,305	×	ペレットストーブの新規導入が進んでいないこと、また、新型コロナの影響等によって、薪の販売量が減少したため、目標値未達となった。 ペレットストーブの新規導入が進んでいない理由は、当初予定していた市内ペレット製造販売が計画どおり進まず、現状では市内においてペレットの普及を促進しづらい状況となっているため。 また、薪については、新型コロナの影響に加え、薪生産者の高齢化による事業縮小といった動きもあるため、今後の増加見込みが不透明	市内で新たにペレット製造を検討している事業者が出てきており、R3年度中には事業化計画の検討を予定。事業化に至った場合は、再びペレットの普及促進を図り、市内の木質バイオマス燃料需要量増を目指す。(長野市バイオマス産業都市構想内、事業化プロジェクトとして推進) 薪については、販売者及び需要者の状況等を見ながら、推進を図っていく方法を検討する。	
	55	再生可能エネルギーによる電力自給率(発電設備容量) (%)		環境保全温 暖化対策課	60.0%	*48 (H29)	49.5 (H29)	○	*51 (H30)	51.8 (H30)	○	*54 (R1)	54.7 (R1)	○			
⑥ 市 民 の 連 携 の 推 進	61	環境保全活動参加者数(人)		環境保全温 暖化対策課	4,700人	4,700	4,842	○	4,842	4,588	×	4,700	1,814	×	新型コロナウイルス感染拡大により、イベントの開催や各プロジェクトの活動が中止となったため。	環境保全活動を推進するため、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策をしながら引き続きイベントの開催や各プロジェクトの活動を実施するよう努める。	全17項目（遅延 4項目） ・学校教育等における環境教育・環境学習の推進 保育園・幼稚園での訪問啓発等 →新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。 他3件 (遅れ気味2項目) ・環境情報の発信拠点の充実 ・地域における継続的な環境学習を推進するための体制の検討 →講習会や出前講座開催の減少
	62	環境学習会年間参加者数(人)		環境保全温 暖化対策課 家庭・地域 学びの課	5,200人	5,200	7,222	○	5,200	6,995	○	5,200	2,683	×	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、募集人員の縮小や、中止したケースが多く、目標値は達成できなかった。	市民の環境に対する意識向上を図るため、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら引き続き講座を計画していく。	

* 当該年度に報告できる実績に対する目標値
* 矢印については、計画策定時(H27)における現状値から計画目標値に向けた時の
上昇(↑)、下降(↓)、維持(→)を表すもの

22指標中
達成 14指標
未達成 8指標

22指標中
達成 11指標
未達成 11指標

22指標中
達成 10指標
未達成 12指標

155項目中（内 再掲18項目）
順調・概ね順調： 131項目（内 再掲17項目）
遅れ気味： 13項目
遅延： 11項目（内 再掲1項目）